



おにぎり通信

2020年9月19日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

9月19日は、俳人・正岡子規の命日です。死ぬ直前に残した俳句がどれもヘチマの句だったので、「糸瓜忌」とも呼ばれます。子規は、物事や情景を写しとる手法を取り入れ、俳句を国民文芸へと高めた人物として評価されています。

正岡子規の句で、一般に有名なのは、「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」ですが、専門家の間では、「いくたびも雪の深さを尋ねけり」という句が愛されています。雪がしんと積もる光景を描きつつ、雪を喜び子供っぽい気持ちや、実は病気による寝たきりで雪が直接見られない切なさ、看病で世話になる家族への申し訳なさ等、深く複雑な想いを、わずか17文字の中で表しています。

福祉行動は、しばらくお休みします。

お困りの方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当面の間、毎週月曜日の福祉行動は、原則として、お休みいたします。

ただし、病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に、お声がけください。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合のみ、次の月曜日に、福祉事務所まで同行いたします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

【腐っても鯛？】

コロナウィルスの影響で、手洗い等の感染症対策への意識が高まっているにも関わらず、同じくウィルスや細菌等の微生物で引き起こされる食中毒の発生数は、昨年に比べても、意外と減っていません。

食中毒を起こす微生物と、食べ物を腐らせる微生物は、実は別のものです。従って、腐ってなければ食べても大丈夫、と考えがちですが、そうではなく、腐っていなくても食中毒になる可能性があります。逆に、腐った肉や魚を食べても、食中毒を起こす微生物さえいなければ、お腹は痛くなりません。では何故、腐ったものを食べないほうがいいかと言うと、微生物が増えて腐らせるのに十分な時間と環境があったということであり、食中毒を起こす微生物も増えていることが多いからです。食中毒を防ぐには、腐ったものを避けるだけでなく、まずは色々な微生物が付かないように食べ物を汚れた手で触らず皿や箸等の食器はきれいにする、そして微生物が増えないように食べ物はなるべく早く食べる、といったことが必要となります。

皆さんは、「3秒ルール」というのを聞いたことがあるでしょうか。食べ物を床や地面に落としても、3秒以内に拾って食べれば大丈夫というものです。何の根拠もないデタラメかと思いきや、これを真面目に検証した科学者がいて、結論は、全くの嘘ではなく、さっと拾った場合は汚れが少なく済むこともある、というものでした。但し、落とすと確実に微生物は付きますし、水分の多い食べ物（実験ではスイカ）は、落とした瞬間にアウトでした。一説によると、9割近くの人が3秒ルールを使った経験があるそうですが、過信は禁物です。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)